

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

団体名	寄居町にトンボ公園を作る会（寄居町）	
DATE	代表者	柴崎 猛（しばさき たけし）
	事務局及び情報誌等送付先	新井 裕（あらい ゆたか） 〒369-1205 寄居町末野1233-2 TEL 048-581-4540
	Home Page	http://www.010.upp.so-net.ne.jp/ytonbo/
	E-mail	tombo2@dldion.ne.jp
	構成員	480人(男370人 女110人)
	活動日	毎月第3日曜日：トンボ公園整備作 毎月日曜、祝日：トンボ自然館開館
	情報誌	トンボ公園だより（年4回発行）5月、8月、12月、3月
設立のきっかけ	バブル景気の頃、リゾート開発の一環として、ゴルフ場建設など寄居町には多くの開発計画があり、町の自然環境の破壊が危惧された。そこで、町の自然環境の保全を目的に当会が発足した。しかし、開発反対的な活動ではなく、自然の素晴らしさを伝えることにより、自然を守ろうと訴えることを活動の基本とした。	
活動の内容	休耕田や栽培放棄田を借り、会員のボランティア活動によって池や湿地を作り、トンボの住めるような環境に改善している（トンボ公園）。これまでに、末野地区に「トンボ公園モデル地区」、折原地区に「折原トンボ公園」、風布地区に「トンボ・ホテル公園」、金尾地区に「金尾トンボ公園」、男衾地区に「おぶすまトンボの里公園」を作ってきた。これらのトンボ公園の面積は10a～80aである。毎週第3日曜日を作業の日と決め、草刈りや池の手直し、木道の修理などトンボ公園の維持管理に必要な作業を行っている。また、当会の活動の紹介やトンボをはじめとする身近な昆虫のミニ博物館として、男衾地区の旧公会堂を借り、「寄居トンボ自然館」として無料公開している。さらに、農業体験を通して環境や食料について考える場とする「触れあい農園」を設置し、その運営も行っている。これらの施設の利用普及を図るため、トンボ公園での「ホテル観察会」、「トンボ写真撮影会」、「ざりがに祭り大会」、「トンボ公園祭り」等を実施しているほか、農業体験、講習会など様々なイベントを行っている。	
エピソード	折原地区でトンボ公園作りを行っているとき、作業参加者の駐車スペースがなく、近隣の農家に迷惑をかけてしまうと考え、町有地を借りることになった。幸い町の許可が与えられたため、その場の草を刈り、整地し、砂利を敷いてブルで鎮圧した。その結果素晴らしい駐車場ができ、一同喜んだのも束の間、何とその場所は町有地ではなく他人の土地だったのである。地主に平謝りしたのは勿論のこと、敷き詰めた砂利を一粒残らず取り去り、元のように復元しろとのきつい言葉を言い渡された。朝から暗くなるまでかかってやっとの事で何とか元通りにしたが、その疲れは言葉では言い表せない。その疲れを癒すため、帰りに赤ちょうちんで焼き鳥を食べ一杯やったところ、なんとみんな腹を下してしまったのである。泣きっ面にハチとはまさにこのことで、忘れられない苦い思い出である。	
今後の計画目標	里山環境の保全のため、農林業の振興、環境学習活動の推進、環境保全のための新しいライフスタイルの提言など多面的な活動を行いたいと考えるが、それに対しては組織体制の強化、ボランティア参加者の確保、資金の拡大など多くの解決しなければならない問題を抱えている。これらの解決を視野に入れつつも、時間をかけて無理なくやっていくつもりである。	
年間行事	5月	総会
	6月	ホテルを観る会
	8月	全国トンボ市民サミット参加
	9月	トンボ撮影会
	11月	トンボ公園祭り
	3月	寄居町生涯学習祭り参加
これまでの歴史	平成元年3月	寄居町にトンボ公園を作る会発足
	5月	寄居町役場に「トンボ公園」の建設を要望
	7月	寄居末野地区で「トンボ公園モデル地区」作りに着手（15アール）
	平成2年10月	トンボ公園モデル地区が30アールに拡大
	平成3年5月	「折原トンボ公園」作りに着手（10アール）
	平成4年7月	風布地区で「風布トンボ・ホテル公園」作りに着手（10アール）
	10月	第1回「トンボ公園祭り」を開催（以降毎年1回、10月に開催）
	11月	「さいたま地球環境賞」を受賞
	平成5年4月	「第1回武蔵野銀行緑の基金」助成団体に決定 金尾地区で「金尾トンボ公園作り」に着手
	7月	活動の経緯を記録した「市民が作るトンボ公園」を出版（けやき書房）
	平成6年5月	寄居町役場に再度公園建設を要望
	平成7年2月	「ふるさとづくり優良賞」を受賞
	6月	男衾地区で「おぶすまトンボの里公園」作りに着手
	9月	日本財団の援助が始まる
	12月	道路拡張に伴い「風布トンボ・ホテル公園」立ち退く（その後、県でトンボ・ホテル公園として整備）
平成8年7月	男衾地区の旧公会堂を借用して「寄居トンボ自然館」を開館	
平成9年5月	「おぶすまトンボの里公園」にて「エコキャンプ場」づくりに着手	

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

	平成10年2月	「さいたま文化ともしび賞」を受賞
	4月	男衾地区で「ふれあい農園」づくりに着手
代表者からの一言	<p>当会の活動も10数年経過し、この活動内容が小学5年生の教科書にもとりあげられ、全国的に多少知名度があがってきていると思っている。ボランティアのみでの活動は決して楽なものではなく、現在はトンボ公園を維持していくことを中心に活動している。しかし、それでは満足できず、NPO法人「むさしの里山研究会」という別組織を設立し、2つの会を車の両輪の様にし、さらなる前進を図ろうとしている。</p>	